

学びの基盤づくり部会

1つくる

- 1 学級力向上の取組
- 2 「南っこ学習のきまり」の児童への周知
- 3 全校に向けたSST動画配信

2なれる

- 1 ICT活用系統表
- 2 授業における、端末の日常的な活用

3まもる

- 1 情報モラル教育
- 2 共通実践としての重点取組（一分前着席）
- 3 タブレット使用の約束

1 つくる

1 学級力向上の取組について



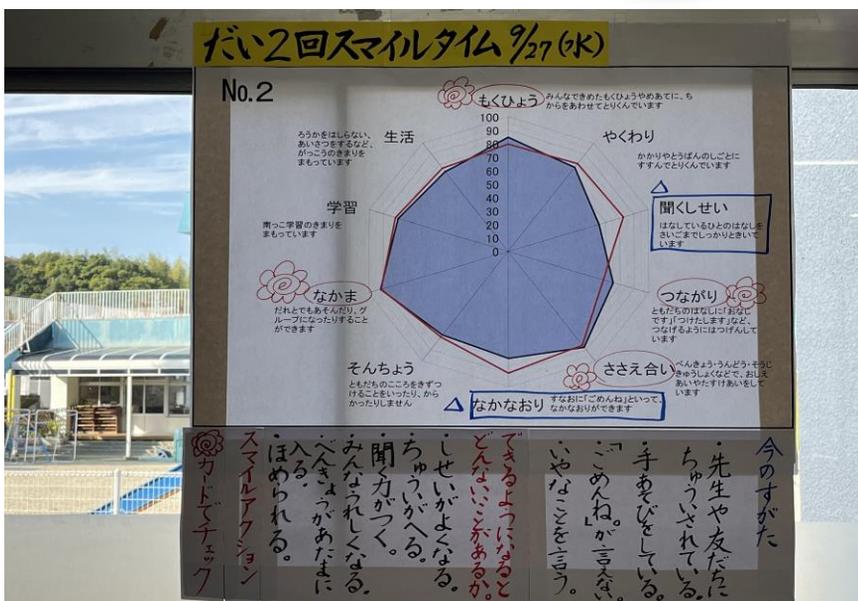
学活の中に位置づけた話し合い活動としての「スマイルタイム」において、アンケートから作成したレーダーチャートを吟味する。

子ども達の話し合いの例

「よかったところはどこですか。」

「課題点はどこですか。」

「スマイルアクションは何にしますか。」



レーダーチャートや話し合った結果を掲示しておくことで、スマイルアクションの共有化と意欲づけをねらっている。

○ スマイルアクション例

いろいろなスマイルアクションが実施されている。

スマイルアクション例

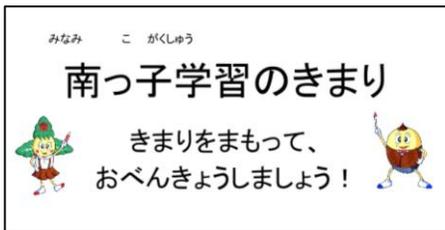
- ・はなまる貯金
- ・ビー玉貯金



2 「南っ子学習のきまり」の児童への周知

低中高それぞれの「南っ子学習のきまり」を5月の児童集会で共通理解を図り取り組んでいる。

今年度は「南っ子学習のきまり」の中にタブレットを使用するときのきまりをもりこみ、共通実践事項として児童に示した。



低・中・高系統だった学習のきまり

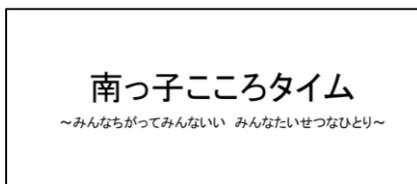


児童集会で利用したスライド

3 全校児童に向けたSST動画配信

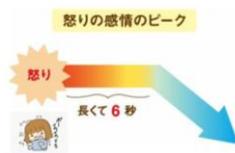
将来につながる人間関係力向上のため、全校児童に向けてソーシャルスキルトレーニングを共通実践することを計画。

「南っこころタイム」として動画を作成し、配信する取り組みを行っている。



南っこころタイムのスライド

イライラ・ムカムカをおさめる ほうほう



れんしゅう ロールプレイ①

かけっこれんしゅうをしています。50mはりました。あなたは、まけたくないとおもっていたAさんにまけてしまいました。Aさんがあなたの方をみてわらっているようにおもいました。あなたは、イライラ、ムカムカしました。どのようにおさめますか。



イライラ・ムカムカをおさめるほうほう

①しんこきゅう



②グーパー、マンガ10回



③まほうのことば



※話題提起から解決方法を紹介、ロールプレイまでクラスで行う。

2 になれる

1 学級力向上の取組について

児童にとってICTが効果的な学びのツールになるように、学年や発達段階に応じた系統的な活用を行っている。タブレット上での文字入力や思考の整理、タブレットを持ち寄って対話するなど、主にタブレットを使った学習になれる。

以下の表が、ICT活用の系統表の一例である。

低学年

学習	<input type="checkbox"/> 図表やグラフを使って情報整理できる Jamboard スライド	コレクションに整理される表や図表を参考にしたり、表の中で情報を探したり、表のデータを比較したり、表のデータを分析したりする。	【目的】 図表やグラフを用いた表や図表の整理や分析を行う。
	<input type="checkbox"/> 1～2点の情報を取り、わかちあひをする Jamboard スライド	Jamboard 上で情報を整理し、自分や相手の情報から分かる情報を整理し、わかちあひをする。	【目的】 1～2点の情報を取り、わかちあひをする。
	<input type="checkbox"/> 複数の情報を読み取り、違いや関係などを探ることができる Jamboard スライド	コレクションに整理される表や図表を参考にしたり、表の中で情報を探したり、表のデータを比較したり、表のデータを分析したりする。	【目的】 複数の情報を読み取り、違いや関係などを探ることができる。
	<input type="checkbox"/> 複数の情報を整理し、自分の考えを表現することができる Jamboard スライド	コレクションに整理される表や図表を参考にしたり、表の中で情報を探したり、表のデータを比較したり、表のデータを分析したりする。	【目的】 複数の情報を整理し、自分の考えを表現することができる。

中学年

整理分析	<input type="checkbox"/> 表やグラフを使って情報を整理できる スプレッドシート Excel	ファイル上に用意された表に数値を入力し、問題の答えや実験結果を整理したり、完成した表を先生の指示通り印刷しグラフ化したりする。	【目的】 スプレッドシート上に用意された表に数値を入力してグラフを作成し、棒グラフから読み取れることについて考える。
	<input type="checkbox"/> 事実と意見、全体と部分などを分けながら情報を整理できる Jamboard スライド Word PowerPoint	ファイル上に用意された思考ツールを使い、事実と自分の意見に分けて整理し、考えを深める。	【目的】 用意された思考ツールを使い、グループごとに事実と自分の意見に分けて整理し、考えを深める。
	<input type="checkbox"/> 2～3点の情報から、傾向や違いを探えることができる Jamboard スライド Word PowerPoint	スライド上で、集めた情報や自分の考えを発表する機会や目的に合わせて編集し、スクリーンに示しながら発表する。	【目的】 スライド上で集めた内容や、低学年の学習に伝えるために、スライド上で文字の大きさや画像を見やすく編集し発表する。

高学年

情報活用	<input type="checkbox"/> 目的にあわせて、表やグラフを使って情報整理できる スプレッドシート Excel	集めた情報を目的にあわせて、表やグラフの形式を適切なものに変更し、目的にあわせて、表やグラフの形式を適切に作成し、グラフ化したりする。	【目的】 タブレットで集めた情報をスプレッドシート上の表にまとめ、グラフ化する。低学年の学習に向けて分かりやすく情報整理するという目的にあわせてグラフの形式を工夫する。
	<input type="checkbox"/> 複数の情報から、傾向や違いを探えることができる スライド Jamboard PowerPoint	集めた情報やファイル上に用意された情報や、付箋や学習ツールを使って整理し、情報の傾向や違いを探える。	【目的】 スライド上に集めた内容や、低学年の学習に伝えるために、スライド上で文字の大きさや画像を見やすく編集し発表する。

2 授業における、端末の日常的な活用



音読の様子を録画したり、登場人物の気持ちを図を使って考えている様子



自分の考えを入力して、友達と意見を交流している様子



国語で、音読の様子を録画したり、登場人物の気持ちを図を使って考えている様子

3 まもる

1 情報モラル教育について

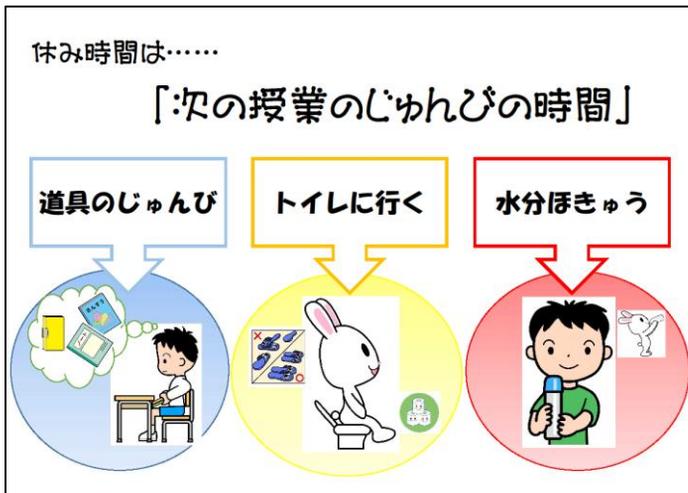


NTTドコモのオンラインによる「スマホ・ケータイ安全教室」を実施したり、人権擁護員の方からお話をしていたりしている。(本年度は12月に 実施予定。)



サイトを利用し、各学年の発達段階に応じて、インターネットの使い方についてクラスで考え、確認する時間を設けた。

2 共通実践としての重点取組（一分前着席）



「つくる」チームでは、全学年で【1分前着席】を共通実践事項とした。そのために休み時間の過ごし方を見直し優先的に取り組むことをポスターにして、各教室に掲示した。



また、落ち着いた雰囲気の中で一斉に授業が始められるよう、開始1分前にはベルをならし、1人ひとりが授業開始の意識を持てるよう取り組んでいる。

3 タブレット使用の約束

タブレットパソコンを使うときのルール



- ①授業時間や先生の許可があるときにだけ、使います。↓
②机の上を整理して、使わない道具は片付けます。↓
③自分のタブレットパソコンを、他の人に使わせません。↓
④自分や他の人の個人情報(名前や住所、電話番号など)は、インターネット上に絶対に書き込みません。↓
⑤相手がいやな気持ちになることを、絶対に書き込みません。↓
⑥シャットダウンをせず、アプリを終了して画面を閉じます。↓
⑦ピンクや黄色のシールをはがしません。はがれたら、すぐに先生に知らせます。↓

個人情報



1 学校でタブレットパソコンを使用するときのルールを決め、児童に指導するためのカードを作成する。(資料1)

2 タブレットパソコンを家庭へ持ち帰るときにルールを決め、児童に指導するためのカードを作成する。(資料2)

3 児童がタブレットパソコンを学校で使用する際に、資料1の内容を指導する。各教室のタブレット保管庫の扉に掲示しておく。

タブレットパソコンを持ち帰るときにルール

学校のタブレットパソコンは、天草市から借りています。↓
学校で使うときと同じように、ルールを守って大切に使いましょう。↓

- 家に持ち帰るとき、学校へ持って来るときは、ランドセルに入れます。水筒は別にします。↓
○家や学校に着くまでは、ランドセルから出しません。学童などでも、使いません。↓
○自分のタブレットパソコンを、他の人に使わせません。↓
○充電・シャットダウンをして、決められた日に学校へ持って来ます。↓
○宿題だけに使います。先生の許可があるアプリだけを使います。↓
○自分や他の人の個人情報(名前や住所、電話番号など)は、インターネット上に絶対に書き込みません。↓
○相手がいやな気持ちになることを、絶対に書き込みません。↓
○ピンクや黄色のシールをはがしません。はがれたら、すぐに先生に知らせます。↓

個人情報



4 児童がタブレットパソコンを家庭に持ち帰る際は、資料2の内容を指導する。また、タブレットパソコンとともに、ルールのカードも持ち帰らせる。